

(2026. 5/8～)

分類	書名	著者	内容
1:哲学	きっと明日はいい日になる	田口久人	読むだけで前向きになる 頑張っているのにうまくいかなくて、落ち込んでしまう…そんな時にこそ読んでほしい、言葉たちです。
2:歴史	ユダヤ人の歴史 古代の興亡から 離散、ホロコースト、シオニズム まで	鶴見太郎	第47回サントリー学芸賞受賞 「流転の集団」の三千年史を雄大なスケールで描く。
3:社会科学	考察する若者たち	三宅香帆	なぜ令和の若者は「正解」を欲しがするのか？考察動画、鬼滅の刃、変な家、ChatGPT…「なんであれ流行ってるの？」にすべて答える一冊。
	「国境なき医師団」をそれでも見 に行く 戦争とバングラデシュ編	いとうせいこう	世界最大の難民キャンプで、作家が出会った「もう一つの戦争」。希望なき世界でたたかう仲間たちを描く、大反響ルポルタージュ！
4:自然科学	馬のころろ 人の相棒になれた理由	瀧本彩加	知れば、きっと馬に合いたくなる。
6:産業	おいしいお米をつくりたい！ゆう ちゃん、小学生で農家に弟子入り しました	谷本雄治	「ゆうちゃん」こと新宅佑輔くんは、農家の中井知広さんがつくるお米が大好き！完全無農薬・天日干しにこだわるゆうちゃんの挑戦と地域の人々との交流を描く感動のノンフィクション。
8:言語	文体のひみつ なぜあの人の文章 はつい読んでしまうのか？	三宅香帆	そんな「仕掛け」があったとは！超一流の作家、ライター、インフルエンサーだけが知っている心をつかむ文章の技。
9:文学	ここにいるよ	真山仁	能登は遅れている」一いわれなき非難に押し込められる小さな声。「比べたら、あかん」教師・小野寺は能登半島地震の被災地の小学校で子どもたちやその親たちが抱える、苦悩と希望に向き合い続ける。
	この世は生きる価値がある	長谷川まりる	主人公は、人間の世界を知らない「魂」。ある時、ある中学2年生男子の体に飛び込み、季節がひとめぐりする間だけその子として生きることになる。さて、どんな日常が待っているのか。
	わたしのbe 書くたび、生まれる	佐藤いつ子	書道を通じて、自分だけの「美」を見つける物語。
	新装版 森崎書店の日々	八木沢里志	世界50言語で翻訳オファー。本の街・神保町の本屋を舞台にしたヒーリング小説。
	お梅は魔法少女ごと呪いたい	藤崎翔	お梅に強敵あらわる！！笑いと涙と精巧な伏線回収に踊らされる第3弾！
	ナースの卯月に視えるもの 天国 への道草	秋谷りんこ	死を前にした人の「思い残し」が視える卯月は、最期のときが迫る患者に何ができるのか、迷いながら寄り添っていく。生きることへの希望が心に灯る。
	私の居場所はここじゃない	安部若菜	夢を語るのは格好悪いのか？努力するのはダサいのか？芸能スクールに通う高校生5人の青春小説。
	黙って喋って	ヒコロヒー	感情がほとばしって言い過ぎた言葉、平気をよそおって言えなかった言葉。記憶の片隅にあった感情がじわっとあふれだす。